



すずらん便り

編集発行 東大谷成美会
〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中2-6-5
大谷学園帝塚山学舎内事務局
TEL 06-6671-4660
Fax 06-6675-6609



大谷学園 学園長 左藤 恵

成美会では、今までも大谷中高等学校の支部と東大谷高等学校の支部があり、その総まとめとして西端さんが永い間会長を勤められ、今日もおご健康で活躍頂いていることは皆さんご承知の通りであります。

ところで本年四月より東大谷高等学校が三年来堺市南区の泉ヶ丘の新校舎に移り男子の成美会員が誕生することになったこともあって、大谷成美会と東大谷成美会に本格的に別れたと言っても良いのでしょうか。その新しい体制を成美会としてまとめ上げるためにも新体制を皆で護り立てていかねばなりません。今まではその取りまとめ役として西端さんにおまかせするのではなく、皆さま方で成美会を立派なものとする。即ち真の大谷精神が満ち満ちた報恩感謝の心が現れるものとして活動して頂きたいと願っています。そのためにも両会仲良く、大谷の流れ果てなく曠劫の闇をつらぬくという校歌の詩のように二つの会ならばその枠をより広げることが出来ましょう。ご活躍をご期待申し上げ東大谷成美会の一層のご発展を祈念して新しいご出発をお祝いしたいと思います。



大谷学園 理事長 左藤 一義

残暑の候、東大谷成美会の皆様方にはご清祥のこととお喜び申し上げます。このたび、東大谷高校の共学化と男子の卒業生を迎えるに伴い、改めて「東大谷成美会」として再スタートされました。従来にましての活動を期待しております。

かつて犬養道子氏は「どこの国でも、どの民族たちとも心を通わす言葉が3つある。『ありがとう』『ごめんなさい』『プリーズ』がそれである」と述べておられました。わけても感謝の心「ありがとう」は万国共通といっても過言でないでしょう。

ところで、この「ありがとう」の反対の語は何でしょうか。「ノーサンキュー」ではありません。正解は「当たり前」です。何かに対してそれが当たり前のことだと思ったとき、「ありがとう」という気持ちは起こりません。ご飯を食べることができて当たり前、人が優しくしてくれて当たり前、そうした感覚から感謝の心は生まれるはずがありません。「有ることが難しい」と書いて「ありがたい」のです。私たちが今ここにいる。それこそが、不思議ないのちをいただいでいて存在している証なのです。

「ありがとう」が家庭に通じると家庭の燈となり、社会に通じると社会の燈となり、暗黒の世界に光を放つこととなります。いかに科学文明が進歩してもこの「ありがとう」という言葉が消えると、闘争の世界へ向かうこととなるでしょう。「全てが当たり前」という自己主張、自分中心の立場が満ち溢れている現代社会に対して、「報恩感謝」という学園の建学の精神をさらに発信して行きたいと願うところであります。

最後に、東大谷成美会の会員各位の一層のご健勝・ご活躍のほどを祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

『 新たな出発 』 東大谷高等学校 校長 神代 一徳



今春、泉ヶ丘校舎第一期生738名(男子301名、女子437名)が、東大谷高校第68期生として卒業しました。20クラスもの大所帯でしたが、諸先生方の情熱あふれる指導のもと立派に成長し、社会に羽ばたきました。卒業生の進路状況は、今までにはないレベルの高い実績となりました。男女共学、校舎移転という大変革の歴史を、100年を超える東大谷高校の歴史に新たに加えることができました。

成美会におかれましても、新たに男子卒業生が会員として加わるという大きな転換点となり、新たな出発の年にもなりました。成美会から卒業生への記念品として念珠袋をいただきましたこと、こころより御礼申し上げます。

「光陰矢のごとし」。今となってみれば、あっという間の三年間でした。泉ヶ丘校舎開校当初は、すべてがまっさら、入学式に始まり、教師も生徒も教室を探してうろうろすることしばしば。生徒と一緒に汗を流しながらグラウンドの天然芝を植えました。残念ながら定着せず、昨年人工芝のグラウンドにさせていただきました。波瀾万丈の3年間でしたが、楽しい思い出です。生徒たちも、他校ではできない経験をしたと思います。

しかし、阿倍野台と泉ヶ丘に校舎が離れていても、阿倍野台の上級生たちの面倒見の良さが、東大谷の伝統を継承させてくれました。花まつり、報恩講を阿倍野台で実施することで、上級生の背を見ることで、感じ取ってくれたと思います。今年の講堂朝礼の3年生導唱4人全員が男子生徒であることなど、着実に本校の宗教的情操教育のもとで、男子生徒も伝統の継承・発展を担ってくれています。

また、部活動ではバトン部・なぎなた部が昨年も全国大会に出場。中でもバトン部は全国大会で優勝し、今年も3月下旬ロサンゼルスの世界大会に出場し、1位となりました。成美会会員の皆さまにとって、泉ヶ丘校舎が新たな母校となります。いつでも、泉ヶ丘校舎に起こしいただき、生徒たちの姿を見ていただき、昔と変わらぬ東大谷高校を身近に感じていただければ幸いです。今後とも、同窓会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

第1回 東大谷成美会総会ご案内

— 成美会発足から通算第95回 —

日時：平成28年10月2日(日) 11:00~15:00(受付10:30~)
会場：ホテル日航大阪 5F鶴の間
地下鉄心斎橋駅下車8番出口
電話：06-6244-1111(代)
会費：4,500円
出欠ハガキ締切日：平成28年9月15日(木) 必着

振込先：ゆうちょ銀行 00990-7-209932
東大谷成美会
出席の方は9月15日までに会費を必ずお振込みください。
※なお、9月21日(水)以降返金できませんのでご了承ください。

講師 住職 澤田秀丸 師 『心たがやす』



1934年大阪府守口市・真宗大谷派清澤寺に生まれ。43年間住職を務める。大谷大学卒。東本願寺出版部長、大谷婦人会本部事務局長、茨木別院・旭川別院輪番兼大谷幼稚園園長、現在大阪刑務所教誨師、守口市社会教育委員。

演奏 世界的口笛奏者 もく まさあき氏

曲目 「愛燦々」「川の流れるように」「慕情」「ふるさと」

昭和17年2月生まれ。大阪市出身・B型。49歳でサラリーマンの世界から「くちぶえふき」に転身し74歳の現在ではHITO-FUE(口笛)提唱者として口笛音楽を文化として定着させるべく、関西を中心に口笛教室を数カ所開設し後進の指導にあたり、また口笛コンクールを開催するなど、口笛普及活動に精力的に取り組んでいる。2004年4月第27回口笛世界大会(アメリカ)ポピュラー部門第2位・総合第3位。2007年4月第34回口笛世界大会(アメリカ)にチームジャパン8名を引率し子供部門・ティーンズ部門で世界チャンピオンを誕生させる。

『 朝に礼拝 夕に感謝 』 東大谷成美会 会長 西端 春枝



如来大悲の恩徳は
身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳も
骨を砕きても謝すべし ♪

私達は讃仏歌の余韻の中でお育て頂いた幸せ者揃いでございます。学園長、理事長、諸先生方もおすこやかで何よりでございます。この度、男女共学の第一期生として旅立たれる皆様を、心からお祝い申し上げます。校祖、了秀先生建学のご苦勞は、何度お聞きしてもよくぞこの世にお出ましくくださったと、合掌あるのみでございます。

了秀先生はよく「大悲無倦常照我」と板書されました。倦くことなく照らしたもう御仏のお慈悲にふられると、親の心、子ならずといひましようか、「しっかり聞きなさい……」とお身体ふるわせて感涙にむせばれるのでした。

今は、おなつかしくお慕わしく思っています。昨年暮、全校生が南御堂さんで、「報恩講」に参加された感想文を拝見いたしました。

…了秀先生ご存命ならば…

若い後輩たちがここまでお話を受け取っておられるのかと、感動いたしました。ありがたく、ありがたくメガホン持って日本国中に叫びたい想いでございました。

「朝に礼拝、夕に感謝」自分の知恵では計り知れない学園とご縁に手を合わし、ささやかな一隅の光であろうと、母校の発展に皆様、相より添うてまいりましょう。

総会お待ちしております。

合掌

「ふりむけば
やさしく笑める
僧ありき」

再拝

熊本地震により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

東大谷成美会の会員の方で熊本県在住の方はいらっしゃいませんでしたが、多くの方が被災され現在も厳しい状況の中で頑張っておられます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

活動報告

総会 年1回
昨年度は5月24日(日)日航ホテル大阪にて開催
役員会 月1度の予定で帝塚山学舎にて会議
了秀忌 毎年12月4日帝塚山学舎にて法要

役員紹介

相談役 三木 笑子 服部 弘美 幹事 杉中 和枝
和田 幸枝 書記 桑 寸美子 黒木 三栄子
会長 西端 春枝 小澤 早苗 奥田 千珠代
副会長 帯野 利子 丹生 敬子 的野 陽子
中山 高子 会計監査 山本 淑子 児島 裕子
前川 慶子 東京子
会計 四ツ谷 弘 幹事 稲岡 節子
山田 嘉代子 山埜 勝子

※新規役員になってくださる方を募集しております。一緒に母校発展のために頑張りませんか。和気あいあいとやっております。お気軽に事務局までお尋ねください。心よりお待ちしております。

了秀忌のお知らせ



日時 平成28年12月3日(土) 13:00
場所 帝塚山学舎
お供え 2,000円
ご出席の連絡を11月末日までに帝塚山学舎(06-6671-4660)へお願いします。

※本年の了秀忌は曜日の都合により1日早く12月3日(土)に開催させていただきますので、お間違のないようお願いいたします。

訃報

左藤恵学園長ご令室 定子様が去る3月5日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

クラブ活動報告

俳句 第1水曜日 13:00~15:00
吉田敦子先生 S35年卒
日舞 第2金曜日 13:30~15:00
水木多鶴子先生 S25年卒

ボランティア活動報告

雑巾を縫う会 第3火曜日 10:00~12:00
池田晶子代表 S42年卒

※入会ご希望の方は、帝塚山事務局までご連絡ください。

平成 27 年度東大谷高等学校活動報告

学校トピックス I

本校の特色ある取り組みの一つとして『探究ゼミナール』があります。『探究ゼミナール』は、本校の2、3学年で実施している学校設定科目です。情報機器が整備された本校の環境を活用して、いわゆるアクティブ・ラーニングとして生徒たちが主体的な探究活動を行なっています。今年度の2学年では、本校が実践校指定を受けているNIE(Newspaper in Education)と関連づけて、「調べ方・まとめ方」の学習を展開しました。具体的には、1学期には電子黒板による視聴覚教材を用いた「調べ方」の学習を、また、2学期には、全国紙各紙の各種新聞記事の分析、タブレット端末を用いた記事作成の演習などによる「まとめ方」の学習を行いました。そして、これらの活動を踏まえて、3学期には印刷物作成ソフトを利用した新聞づくりを行い、3学年で実践する総合的な調査・研究活動へ向けた準備を整えているところです。

学校行事の中で、男子生徒を迎えて大きく変わった印象を持つのが体育大会です。体育大会は3年生が受験に向かいやすいように本年度より2学期から1学期に移し、6月3日に大阪市中央体育館で実施しました。4月の新年度開始とともに各種目の決定、練習とあわただしい日々でしたが、各学年・応援団・出演クラブそれぞれが一生懸命に取り組んでいました。当日は多くの保護者の方々にご来場いただき、観客席からの温かい声援に応えるように生徒たちは精一杯力を発揮しあふれんばかりの笑顔が弾けていました。特に高校生活最後の体育大会を迎えた総勢750名の3年生による集団演技『ボディスラップ』をプログラム最終種目として披露してくれました。全員が腕や脚など自分の身体をスラップ(たたく)して生み出す音とリズムの一体感とその迫りに観客は皆、魅了、圧倒され大歓声と惜しみない拍手が送られました。

『探究ゼミナール』

『体育大会の風景』

『バトン部』

『なぎなた部』



学校トピックス II

部活動は、運動部 14、文化部 20 が活発な活動をしています。昨夏はバトン部が全国中学校高等学校ダンスドリル選手権大会・メジャーレット部門で第1位を獲得、なぎなた部が全国高等学校総合体育大会において演技の部で第5位入賞という素晴らしい戦績を残しました。バトン部「3年生は最後の大会、1、2年生は初めての全国大会でとても緊張しましたが、演技中は最高の笑顔で踊り切ることができました。また、バトンを一度も落とさずに『ノードロップ』も達成しました。このような結果を残すことができたのは、先生方・コーチ・家族や友達が私たちを支えてくれたからだと思えます。これからも日々努力し、さらに上達するように頑張ってください。」なぎなた部「なかなか前に進めず不安が募る毎日でしたが『やる気と、少し伸びたときの喜び』を大切に、たとえ短い練習時間しか取れない時でも、効率よく稽古を進めました。先生とも少しずつ関係が深まり、自分たちで考えながら行動する私たちを認めて下さいました。遠回りすることは多くても、無駄なことは何ひとつなく、自分たちの気持ちに素直に行動する大切さも学びました。多くの方々に支えられ、この度のインターハイで入賞することが出来ました。すべての方々への感謝の気持ちで一杯です。」

東大谷高等学校 平成 28 年度大学・短大等入試結果 (コース別集計) (2016. 3. 31 現在)

Table with columns for university type (National/Private/Short University), department (Admission/Verbal/Specialized), and total count. Includes sub-tables for 'Short University' and 'Other'.

編集後記

東大谷成美会としての第1回会報発行にあたり、諸先生方初め皆さまにご寄稿賜り無事発行することができましたことを厚くお礼申し上げます。より会員の皆さまに親しんで頂けますよう、東大谷の学年章等でゆかりのある花の名前をとって「すずらん便り」という会報名をつけさせて頂きました。できる限り皆さまの母校である東大谷高等学校の現在の様子と同窓会の活動をお知らせしていきますので楽しみにしててください。会報は、毎年発行できればよいのですが、諸事情により出来る限り2年毎を目標に総会のご案内に同封させて頂きます。どうかご了承くださいますようお願い申し上げます。今後とも東大谷成美会がますます発展していきますようご支援をよろしくお願い申し上げます。

東大谷成美会役員一同